

2005年4月20日

エドモンド・ロスチャイルド・ヨーロッパ・プライベートバンク
日興コーディアル証券株式会社

LCFロスチャイルド・グループと日興コーディアル証券の 日本におけるプライベートバンキングビジネスに関する業務提携について

エドモンド・ロスチャイルド・ヨーロッパ・プライベートバンク（以下BPERE）と日興コーディアル証券は業務提携に基づき、日本のお客様に対し本格的なプライベートバンキングサービスを提供することを決定しました。

2003年以来、BPEREが行った市場調査と日興コーディアル証券を通じた一部のサービス提供の結果、日本の市場は非常に有望であり、また、日興コーディアル証券がBPEREの日本におけるパートナーとして最もふさわしいと判断したからです。

今後、BPEREは日興コーディアル証券を通じて日本のお客様に「伝統」と「革新性」に基づいた最適な資産運用・管理サービスを提供します。具体的には、日興コーディアル証券プライベートバンキング部を通じて、BPEREが世界中のお客様に提供している資産運用手法をベースとするファンドの販売やロスチャイルド家の持つ多種多様なノウハウをファミリーオフィスサービスとして提供していきます。

さらに、両社はお客様のグローバルなニーズに対応するため、中長期的により幅広い連携を図っていきます。

今回の日本市場への本格的な参入に関して、BPERE取締役会長のベンジャミン・ドゥ・ロスチャイルド男爵は以下のようにコメントしています。

「潜在的な成長力が大きい日本の市場に、日興コーディアル証券という強力なパートナーを得て、本格的に参入できることを非常にうれしく思います。日興コーディアル証券とは一昨年来より様々な分野での協働を行ってきました。また、社長の有村氏と私個人の間にも、同じビジネス哲学や人生観を共有できる友人として強固な信頼関係を築いてきました。このような信頼関係に基づいて提供される私たちのサービスは、日本の市場においても他国の市場同様に支持されると確信しています。」

また、日興コーディアル証券取締役社長の有村純一は、以下のようにコメントしています。

「当社のお客様の幅広いニーズに対応するための体制整備を積極的に進めています。富裕層ビジネスにおいて2世紀半にわたる経験と実績を誇るBPEREの日本戦略におけるパートナーとなることで、当社が提供するプライベートバンキングのサービスは飛躍的に向上し、日本において最も革新的なものとなると考えています。」

《ロスチャイルド家について》

ロスチャイルド家は欧州をルーツとし、2世紀半にわたって金融業を営む世界有数の資本家です。一族の主流のうち、ジュネーブ家(スイス)はプライベートバンクを中核とするLCFロスチャイルド・グループを形成して個人富裕層の資産管理ビジネスを行っています。またロンドン家(英国)とパリ家(フランス)は、別々に投資銀行業務を中核とするビジネスを展開しておりましたが、一昨年に事業統合し投資銀行グループを再編成いたしました。

《LCFロスチャイルド・グループ(Groupe LCF Rothschild)について》

LCFロスチャイルド・グループは、ジュネーブを本拠とする金融持株会社の傘下に世界各地30拠点で2,000人の従業員を抱え、プライベートバンキング、保険、不動産、ワイン、レジャー、観光などのビジネスを展開しています。現在の会長はベンジャミン・ドゥ・ロスチャイルド男爵です。

《BPERE (Banque Privée Edmond de Rothschild Europe)について》

BPERE(所在地:ルクセンブルグ)は、親会社であるBPER(所在地:ジュネーブ)と共にLCFロスチャイルド・グループの中核として、プライベートバンキングを主要業務としています。同分野ではグループ全体で110人のポートフォリオ・マネージャーが個人富裕層資産を一任運用しています。

《日興コーディアル証券プライベートバンキング部について》

“日興プライベートバンキング”は公開企業オーナーを中心とするお客様を対象に、資産保全の理念のもと、資産ポートフォリオの最適配分、金融資産運用、相続・事業継承、経営などに関する個別・長期・包括的提案をお客様との対話を通じて行っております。東京、大阪、名古屋、京都、福岡の5拠点より、日興コーディアルグループの経営資源を効果的に活用したサービスを提供しております。